

令和4年度 第1回生駒市スポーツ推進審議会  
会議録（要旨）

日時 令和4年7月28日（木）午前10時00分から  
場所 コミュニティセンター4階 401会議室

◎ 出席委員（敬称略）

池田誠也、浦井善宏、下宇宿勲、竹内幸子、中井一郎、林陽子、松尾正則、連 靖和  
（事務局）教育長、生涯学習部長、スポーツ振興課長、主幹兼スポーツ振興係長、スポーツ振興係員

内 容

1. 辞令書交付
2. 案件
  - (1) 役員の選出について
  - (2) 令和4年度 スポーツ推進審議会事業計画(案)について
  - (3) 令和4年度 社会体育主要事業計画について
  - (4) 第2次 生駒市教育大綱について
  - (5) 生駒市スポーツ推進計画の進行管理について
  - (6) 教育委員会からの諮問について
3. その他
  - ・障がい(児)者スポーツ活動支援事業について
  - ・学校部活動の地域移行について

各案件

(1) 役員の選出について

<事務局>

案件(1)「役員の選出について」を議題とします。

会長、副会長の選出については、生駒市スポーツ推進審議会条例第6条第2項の規定で互選により定めることになっていますが、互選の方法についてご意見等はありませんか。

<委員>

前回はどのようにされたのか。

<事務局>

(一財)生駒市体育スポーツ会長の池田委員に会長をお願いしていました。

また、副会長は会長の指名により選出いただいていたいました。

<委員>

会長は今までどおりスポーツ協会の池田委員に、副会長は会長の指名ということでどうか。

<事務局>

会長は今までどおりスポーツ協会の池田委員に、副会長は会長の指名というご意見がありましたかよろしいでしょうか。

<委員>

[異議なし]

<事務局>

それでは池田会長、会長席をお願いします。

<事務局>

続きまして副会長は会長の指名により選出をお願いします。池田会長、指名をお願いします。

<会長>

浦井委員を指名します。

<事務局>

副会長は浦井委員とのことですがよろしいでしょうか。

<委員>

[異議なし]

<事務局>

それでは浦井副会長、副会長席をお願いします。会長、副会長からご挨拶を。

<会長、副会長>

[挨拶]

<事務局>

議事については、スポーツ推進審議会条例第7条第1項の規定により「会長が議長となる」ことになっておりますので、会長、議事進行をお願いします。

(2) 令和4年度スポーツ推進審議会事業計画(案)について

<会長>

それでは、案件(2)「令和4年度スポーツ推進審議会事業計画(案)について」事務局から説明を。

<事務局>

「令和4年度スポーツ推進審議会事業計画(案)について」を説明

<会長>

事務局から説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

<委員>

[質問なし]

(3) 令和4年度 社会体育主要事業計画について

<会長>

続いて、案件(3)「令和4年度 社会体育主要事業計画について」事務局から説明を。

<事務局>

「令和4年度 社会体育主要事業計画について」を説明

<会長>

ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

<委員>

[質問なし]

(4) 第2次生駒市教育大綱 令和4年度生駒市教育大綱アクションプランについて

<会長>

続いて、案件(4)「第2次生駒市教育大綱 令和4年度生駒市教育大綱アクションプランについて」事務局から説明を。

<事務局>

「第2次生駒市教育大綱 令和4年度生駒市教育大綱アクションプランについて」を説明

<会長>

ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

<委員>

[質問なし]

(5) 生駒市スポーツ推進計画の進行管理について

<会長>

続いて、案件(5)「生駒市スポーツ推進計画の進行管理について」事務局から説明を。

<事務局>

「生駒市スポーツ推進計画の進行管理について」を説明

<会長>

ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

<委員>

[質問なし]

(6) について

<会長>

続いて、案件(6)「教育委員会からの諮問(仮称)第2次生駒市スポーツ推進計画の策定について」事務局から説明を。

<事務局>

「教育委員会からの諮問(仮称)第2次生駒市スポーツ推進計画の策定について」を説明

なお、市民意識調査の結果が出てからになるかと思いますが、計画策定に合わせ、スポーツ推進審議会委員とスポーツ推進委員の両方で計画策定についての話し合いを行いたいと考えています。その際にご協力をお願いします。

<会長>

ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

<副会長>

市民意識調査の方法はどのように考えているか?

<事務局>

前回実施した際は、調査の対象者を無作為抽出し、市民3000人に対して50問程度のアンケートを実施しました。今回も同様に考えています。

なお、設問内容等につきましては、次回の審議会でご審議いただければと考えています。

<副会長>

スポーツ施設の在り方などについては、今回の調査に含まれるのか?

<事務局>

ファシリティマネジメント推進計画との調整もありますので、今後の施設の統廃合等についても含めて、施設利用者や関係団体にヒアリングやアンケートを実施する方向で考えています。

<副会長>

施設のあり方についてのアンケートやヒアリングを考えておられるなら、スポーツ推進審議会の会長であり、生駒市スポーツ協会の会長でもある池田会長がここに居られますが、スポーツ協会にアンケートの実施について協力をお願いすることも考えられるのではありませんか?

<事務局>

生駒市スポーツ協会には30の競技団体が加盟されていて、屋内屋外ともに今後のスポーツ施設についてのご意見をいただけるかと思いますが、スポーツ協会のご協力を頂けると実際の施設の利用者の声を聞けるため、非常にありがたいです。

<会長>

スポーツ協会として協力できると思うので、詳細が決まれば教えてもらいたい。

<事務局>

ありがとうございます。

<委員>

前回の調査では、インターネットでの回答などの方法はとられたか？

<事務局>

前回は、紙ベースでアンケートを郵送し、返信用封筒にて回収いたしました。

<委員>

年齢的に紙ベースでしか回答できない人もいると思うが、最近はスマホやパソコンで回答するアンケート調査も多くなっているので、今回実施されるアンケートにも導入されたらどうかと思う。スマホ等での回答だと気軽に取り組めるので、回答率も上がるのではないかと考えられる。

<事務局>

ありがとうございます。回答率を上げるためにも是非検討させていただきたいと思います。

<委員>

障がい者たちの中で、「私たちのいないところで、私たちのことを決めないで」という言葉がある。

無作為抽出で 3,000 人という事ですが、障がいを持っている当事者たちの意見も取り込めるようにしてほしいと思う。

<事務局>

生駒市は障がい者スポーツの推進にも積極的に取り組んでいますので、障がい者の皆さまのご意見を当事者団体や支援団体等を通じてヒアリングなどが出来るよう検討して参ります。

<会長>

他にご意見、ご質問はありませんか？

<委員>

[質問なし]

**その他**

<会長>

続いて、その他について、事務局から説明を。

<事務局>

その他につきまして、2点あります。

1点目「障がい(児)者スポーツ活動支援事業について」を説明

2点目「学校部活動の地域移行について」を説明

<会長>

何か質問等がありますか。

<委員>

[質問なし]

<会長>

それでは委員から全体をとおしてご意見等はありませんか？

<委員>

障がい者スポーツ実践者として、現在知的障がい者を対象として陸上の指導をしている。部員は約 20 名で最高齢は 26 歳、高等養護学校の陸上部員 20 名も一緒に練習することがあり、最大 40 名になることがある。パラリンピックを目指す！という人もいれば、100mを全力で走り切れるようになりたい！という人もいる。皆さんそれぞれ色々な目標を持ち、練習に励んでいる。

現在、田原本町にある練習場で活動しているが、生駒市にもこういう活動が出来る場所があれば良いと思う。学校部活動の地域移行について、懸念していることが一点ある。それは会費等の費用面での問題です。

経済的な支援が必要な家庭もあり、スポーツに取り組みたいのに取り組めないという子どもたちが出てこないだろうか？皆が平等にスポーツなどの部活動に触れることが出来る機会を維持できるのか、そこをケアできる仕組み作りが必要だと思う。

<委員>

指定管理者として、今後も生駒市に協力していきたいと思っている。

今年度は、ポッチャでパラリンピックに出場されたパラアスリートの選手をお招きしたいと考えている。

また、イベント等でスポーツ用車いすが必要であれば貸し出しが可能なので、声をかけてほしい。

<委員>

生駒市民であれば令和4年8月中はTACきらめき屋内温水プールが半額で利用できるという話がありましたが、素直にうれしく思う。

きらめきのスタジオで知的障がい者の方とその保護者の方が一緒に入って来られたことがある。その時、身体の動かし方を障がい者の方に伝えるためにはその保護者の方に伝えて、保護者から伝えていただく必要があった。少し違うな、と思っても直接伝えることが出来なくて非常にもどかしい思いをしたことがある。

エイジレスエクササイズも最近復活したが、参加率が非常に高く、皆さん再開することを楽しみにしてくれていたんだと感じた。直接コミュニケーションが取れると嬉しい。これからも楽しく身体にいいことを続けていきたいと思う。

<委員>

子どもの運動は、いつでも誰でもどこでも出来るようにしていきたい。その機会を作ることが大切だと感じている。鬼ごっこなんかはそういう機会の一つだと思っている。

地域の人たちが子どもたちを育てるものだと思うが、最近は子ども会で指導する人たちが減ってきている。

指導する人たちを増やす事も課題だと思う。

<委員>

夏休みに入って、7月からラジオ体操を公園でやっている。最初はラジオ体操第1だけだったが、参加者からの要望もあり、ラジオ体操第2もするようになった。今日も朝7時からやってきたが、80人くらい集まっていた。早朝のラジオ体操をきっかけにコミュニティが作られている。

<委員>

いこ増ッスルクラブの設立当初から関わっている中で感じているのが、大人は年間の会費を払って、それに加えて都度の参加費を払ってスポーツをするということに馴染みがない人が多いのかもしれない。

しかし、自分ではなく、自分の子どもの為の会費や参加費の支払いには抵抗が無いようで、バンビシャス奈良が運営するバスケットボール教室や、YAMATO奈良が運営するバドミントン教室の参加者数は多いと感じている。今後、馴染みのない大人の意識をどう変えていくかが課題だと感じている。

<委員>

学校のプールが3年ぶりに実施され、子どもたちも大変喜んでいる。

学校部活動の地域移行は県教委からは何も話しが来っていない状態だが、生駒市から方向性を示して頂いているので、それに沿って動いていきたいと思っている。

「指導者謝金をどうするのか」といったところが課題だと感じている。

<副会長>

日本の総合型地域スポーツクラブはドイツをモデルにしている、受益者負担が原則となっている。費用を負担してもスポーツや文化に触れることが出来るのはステータスと考えられている。

子どもたちに平等にスポーツに触れさせるには費用が問題であるが、そこには指導者をどの程度のレベルにするかということに左右される。世界陸上メダリストの為末大選手は、費用を負担して指導者を雇用することに賛成という立場である。

生駒市は学校部活動の地域移行のモデル事業を実施している。そのモデル事業を踏まえて、生駒モデルに期待している。

<会長>

学校部活動の地域移行についての「生駒モデル」を是非作っていきましょう。  
他に何かありませんか？

<委員>

[意見無し]

<会長>

皆様からたくさんのご意見をいただき、非常に有意義な会議となりました。  
今後ともよろしく願いいたします。  
これで、令和4年度第1回生駒市スポーツ推進審議会を終了します。